

第 61 回 原子力損害賠償・廃炉等支援機構 廃炉等技術委員会 議事要旨

日時：2025 年 2 月 3 日(月) 10:00～11:00

場所：原子力損害賠償・廃炉等支援機構 会議室及びオンライン

1. 次年度廃炉研究開発計画等について

機構及び経済産業省から次期廃炉研究開発計画等について以下のとおり説明した。

- 今年度はこれまでの研究開発結果を踏まえ、より高い成果を得るための課題や新たに取り上げるべき課題を抽出するとともに、昨年度に引き続き、研究開発に係る RFI を公募し、幅広く廃炉・汚染水・処理水対策事業の内容の提案を受け、次年度廃炉研究開発計画の検討を行った。
- また、福島第一原子力発電所の廃炉のための研究開発の実効性を高めるために実施している「1F 廃炉研究開発の東電・東双みらいテクノロジー(株)・JAEA・NDF の 4 者連携強化のための課題共有」活動の反映をはじめとして、燃料デブリ取り出し工法評価小委員会の工法選定の報告を受けた課題について研究開発内容を具体化した。

廃炉等技術委員からの主な意見は以下のとおり。

- 福島第一原子力発電所の状況を考えると海外の企業や研究機関が参画することは重要であるが、海外への情報発信が分かりにくく趣旨が伝わっているのか疑問がある。海外の企業や研究機関が参加できる様、情報の発信の仕方を工夫する努力をしていただきたい。
- 長期的に時間がかかる廃炉について、国民の理解醸成を深めていく観点からの研究開発計画を議論していくことも今後重要である。

委員からの意見を踏まえ、修正については委員長一任の上、次年度廃炉研究開発計画を廃炉・汚染水・処理水対策チーム会合・事務局会議へ報告することについて同意がなされた。

2. 廃炉への取組状況について

東京電力より、ALPS 処理水海洋放出の状況、2 号機燃料デブリ試験的取り出し作業の全体状況、3 号機内部調査、増設 ALPS 配管洗浄作業における身体汚染等の 2023 年 10 月以降に発生したトラブル事案に対する取組み状況について説明があった。

以上